

無垢フローリングブロック(直貼用)の施工方法

施工前の注意

1. 下地のモルタル面は、平滑に仕上げてください。部分的なモルタル面の凸凹、割れ、欠けは補修モルタルにて修正を行ってください。
2. せっこう系のセルフレベルーは使用しないでください。接着不良の原因になります。
3. モルタル系のセルフレベルーを使用した場合は、表面のエフロ(粉が凝縮したもの)を完全に除去した後、施工を行ってください。
4. モルタル下地面に、油類・水漏れ等がある場合は、接着できません。
5. モルタルとスラブ全体を十分乾燥させてください(含水率 10%以下)。特にビット等がなく地面に接する 1 階の床については、防水シートや防水コンクリート等による地中の湿気・水分を遮断する処理が必要になります。
6. モルタル表面は乾燥していますが、スラブの深部に多量の水分が含まれていることが多いので注意を要します。
7. 割り付けの前にモルタル表面の清掃を掃除機で必ず行ってください。

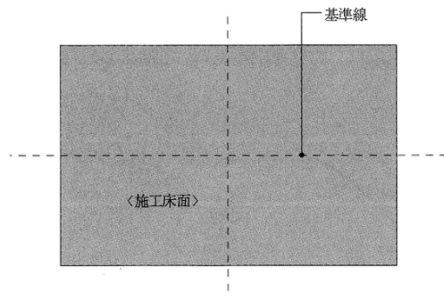
施工上の注意

無垢フローリングは、空気中の水分を吸収・発散する働きがあります。その結果といたしまして「膨張」「収縮」等が生じ、施工状況によっては不都合を引き起こす場合があります。より良い仕上がりにするために、以下の要領をご参照のうえ施工を行ってください。なお、弊社製品は内装用のため、外装用としてはお使いいただけません。

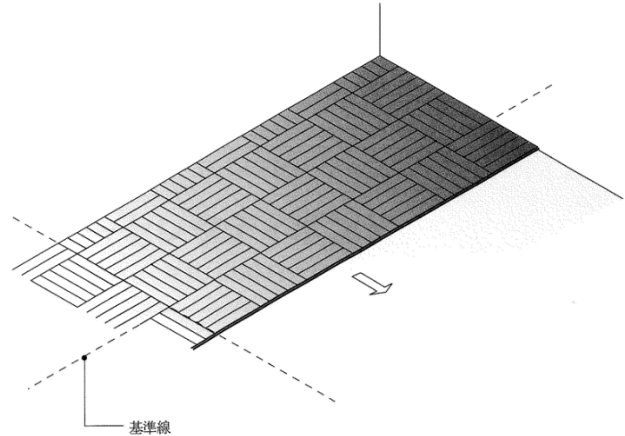
1. 接着剤はエポキシ系直貼用をご使用ください(弊社でも販売しております)。
2. お使いになるエポキシ系接着剤の使用説明書をよく読んで施工してください。
3. 接着剤は可使時間を必ず確認して、その時間内に貼りあげられる面積内でモルタルに塗布してください。風のある場合、気温や湿度が高い場合は、さらに短くなりますのでご注意ください。
4. 石材・框・見切り材等の納まりには、エキスパンションゴム層やシリコン層を設けるようにしてください。
5. 巾木は後付けとし、壁との納まりには巾木の下に 5~7mm の隙間をとってください。
6. フロアー上面をゴムハンマーで叩き、接着剤とフロアーをよく密着させて、手でも押しつけ貼りあげてください。
7. 貼りあげ後、加圧養生のため加圧が不安定な部分、とりわけジョイント部分には、10kg 程度の重さのものを置いてください。
8. 塗布量が多すぎるとジョイント部分からあふれ、フローリングの表面を汚してしまいます。必ず同梱のくし目ゴテを使用してください。
9. エポキシ系接着剤がフロアー表面に付着した場合は、すみやかに灯油を含ませた布で軽く拭き取ってください。この接着剤は固まってしまうと取れなくなります。

● 貼り始め

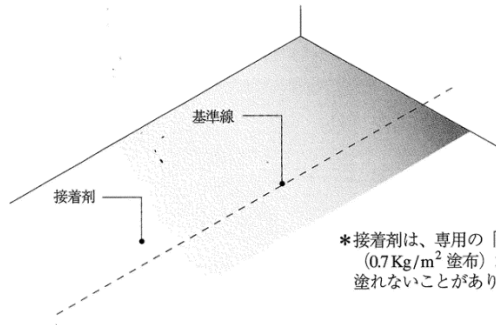
施工する床面に基準線を引いてください。



② 基準線に沿って床材を市松に置き、圧縮してください。



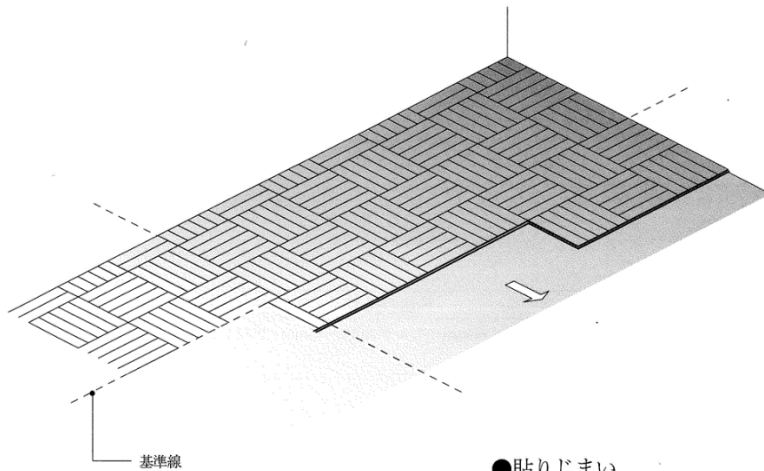
① 貼り付ける床材の大きさに合わせて下地へ接着剤を塗る。



* 接着剤は、専用の「クシ目ゴテ」で塗りひろげてください
(0.7Kg/m²塗布) 木片などで塗りますと規定量
塗れないことがあります。必ず専用クシ目ゴテをご使用ください。

● 2列目以降からの施工

1列目と同様に床材を市松貼りしてください。



● 貼りじまい

- ① 床材を、はめ込む形に精寸にカットし、納まりを確認してください。
- ② 接着剤が硬化するまで (24時間以上) 上に乗ったり歩き回ったりしないでください。

● 壁周囲納まりは施工後の床材寸法変化を考慮し適当な隙間を設けて下さい。

● 下地の不陸などで、床材が下地に密着しにくい場合、砂袋などの重しを置いてください。

施工後の注意

1. 接着剤が硬化するまで (施工後 24 時間) は、養生シートをかけずに置いてください。
2. 硬化するためには静止養生が必要となりますので、人が乗ったり、歩いたりしないでください。接着不良の原因となります。(冬期間は硬化に時間がかかりますので、静止養生の時間を長くってください)